

高松宮記念杯 男子第66回・女子第59回 令和5年度 全日本学生ハンドボール選手権大会 大会要項

大会名 高松宮記念杯 男子第66回・女子第59回 令和5年度 全日本学生ハンドボール選手権大会

主催 公益財団法人日本ハンドボール協会・一般社団法人全日本学生ハンドボール連盟

共催 一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)

主管 北海道学生ハンドボール連盟・北海道ハンドボール協会・函館ハンドボール協会

後援 毎日新聞社・函館市・函館市教育委員会・特定非営利活動法人函館市スポーツ協会・函館市商工会
議所・北海道新聞社函館支社・報知新聞北海道支局・函館新聞社

協賛 株式会社モルテン・株式会社オールイントラベル、渡作株式会社IMPALハンドボール事業部

開催期日 令和5年11月4日(土)～8日(水)の5日間 ※開会式及び諸会議 11月3日(祝)

試合会場 函館アリーナ 北海道函館市湯川町1-32-1 0138-57-3141

函館大学体育館 北海道函館市高丘町51-1 0138-57-1181

函館大学付属有斗高等学校体育館 北海道函館市湯川町2-43-1 0138-57-1381

競技規則 令和5年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則及び全日本学連申し合わせ事項により実施する。

試合形式 男女ともトーナメント方式。3位決定戦は行わない(準決勝敗退の2大学を3位とする)。

競技時間 前半30分―休憩10分―後半30分

正規の時間内で勝敗がつかない場合は、第一延長、前半5分―休憩1分―後半5分、第一延長で
勝敗がつかない場合は、第二延長、前半5分―休憩1分―後半5分、第二延長で勝敗がつかない
場合は、各チーム5名ずつの7Mスローコンテストで勝敗を決定する。

試合球 モルテン社製のボール ヌエバX5000 (男子H3X5001―BW、女子 H2X5001―BW)を使用する。

ドーピングコントロール

1. 本大会は日本アンチ・ドーピング規定に基づくドーピングコントロール対象大会である。
2. 本大会参加者は大会にエントリーした時点で、日本アンチ・ドーピング規定に従い、ドーピングコントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす。
3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規則に基づき制裁等を受けることになるので留意してください。
4. 大会・大会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意してください。
5. 日本アンチ・ドーピング規定の詳細内容及びドーピング検査については、(公財)日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。大会参加時はもとより、平素からアンチ・ドーピング教育に取り組んでいただきますようお願いいたします。

参加資格 各都道府県協会を通して(公財)日本ハンドボール協会の令和5年度登録を完了し、全日本学生ハンドボール連盟に登録済みの大学男子・女子のチームで、全日本(北海道・東北・関東・北信越・東海・関西・中四国・九州)の各地区学連より推薦されたチームであること。また、チーム構成員(選手・役員)の個人としても全員、(公財)日本ハンドボール協会及び全日本学生ハンドボール連盟の令和5年度登録を完了していなければならない。出場チームは、男子32チーム、女子32チームとする。

参加人数 ①大会参加申込の役員・選手は「役員＝6名・選手＝20名」の登録とする。

また、ベンチ登録の役員・選手は「役員＝5名・選手＝16名」とする。

尚、申込後の変更は認めない。

エントリー20名以外の選手は、プログラム原稿に氏名、学年、出身校を記載する。

留学生については、全日本学生ハンドボール連盟の取り決めにより、大会エントリー3名以内、ゲームエントリー2名までとする(短期留学生※2年未満は不可)。

②役員構成は、部長・監督・コーチ・主務・副務・トレーナー等、どのような構成でも可能とする。

③引率責任者は大学の専任教職員、部長または監督が任命した者であること。

引率責任者が未登録の場合はベンチに入れないが、試合会場にいて、緊急対応時には連絡が取れるように待機しなければならない。

申込方法 様式Ⅰ＝大会参加申込書

様式Ⅱ＝大会プログラム原稿

様式Ⅲ＝大会帯同責任者届出用紙

様式Ⅳ＝大会傷害保険加入申込用紙

様式Ⅴ＝銀行振込確認書

様式Ⅵ＝宿泊・交通・弁当申込書

様式Ⅶ＝記念Tシャツ申込用紙

※様式Ⅰ－Ⅶは、下記アドレスからダウンロードし、必要事項を記入すること。

<http://sites.google.com/view/hokkaido-student-handball>(北海道学生ハンドボール連盟HP)

<https://www.student-handball.jp/>(全日本学生ハンドボール連盟HP)

※様式Ⅰ－Ⅴの申込締め切りは 令和5年10月3日(火)必着とする。

※様式Ⅰは下記の通り各地区学連でとりまとめて全日本学連事務局へ郵送のこと。

① 様式Ⅰは2部作成し、1部には大学承認印(個人ではなく大学公認印)を押印の上、所属学連事務局へ所属学連が設定した締切日までに郵送すること。

毎年、誤字・脱字、その他記載ミスが多いので各大学共に慎重に記載すること。

各地区学連は、事前に締め切りを設定後、推薦大学の個人登録等をチェックした後、取りまとめて令和5年10月10日(火)必着で全日本学連事務局へ送付すること。

送付先 〒106-0044

東京都港区東麻布2-21-2 全日本学生ハンドボール連盟事務局

また、様式Ⅰのもう1部はデータのままメールに添付して、令和5年10月3日(火)までに大会事務局 島崎百恵 宛(E-mail: shimazaki@tsc.u-tokai.ac.jp)に送信すること。

② 様式Ⅱ＝大会プログラム原稿はデータ入力後、提出先の2箇所直接メール送信すること。

提出先: 指定印刷会社 山藤三陽印刷株式会社 佐々木誠也 宛

E-mail: sei-ssk@sando-sanyo.co.jp

横山克人 宛 E-mail: katsuhito-yokoyama@ts.siu.ac.jp

③ 様式Ⅲ＝大会帯同責任者届出用紙は、大会事務局 島崎百恵 宛にメール送信すること。

E-mail: shimazaki@tsc.u-tokai.ac.jp

④ 様式Ⅳ＝大会傷害保険申込は、大会事務局 島崎百恵 宛にメール送信すること。

E-mail: shimazaki@tsc.u-tokai.ac.jp

⑤ 様式Ⅴ=銀行振込確認書は、大会事務局 島崎百恵 宛にメール送信すること。

E-mail: shimazaki@tsc.u-tokai.ac.jp

⑥ 様式Ⅵ:宿泊・交通・弁当等は、(株)オールイントラベル(代表:林真彦)が斡旋する。

申し込みを希望するチームは、令和5年10月10日(火)までに直接申し込むこと。

E-mail: hakodate@all-in-travel.co.jp TEL: 0138-44-3939 FAX: 0138-41-8890

⑥ 様式Ⅶ:記念Tシャツは、(担当:IMPAL事業部)令和5年10月4日(水)までに直接申し込むこと。

E-mail: impal@watasaku.co.jp

大会参加料 1チーム50,000円

振込先 北洋銀行 函館中央支店 普通貯金 4248066

全日本インカレ函館大会 代表:松 喜美夫(マツ キミオ)

*振込に際して、必ず大学名で振り込むこと。男女参加大学の場合は、先頭に必ず男女の記載をすること。

(例)東海大学札幌の場合、男子:ダトウカイサッポロ、女子:ジトウカイサッポロ

*振込締め切りは令和5年10月3日(火)とする。

組合抽選 抽選は令和5年10月14日(土)に主催者が責任をもって行い、その結果は(公財)日本ハンドボール協会・北海道学連・全日本学連等にて公開する。

諸会議 ①審判・テクニカルデレゲート会議

令和5年11月3日(祝) ※ 会議の開始時間については、別途連絡する。

ホテル法華クラブ函館 〒040-0011 函館市本町27-1 TEL0138-52-3121

②アンチ・ドーピング講習会

令和5年11月3日(祝) 15:00

③代表者会議

令和5年11月3日(祝) 15:30

※アンチ・ドーピング講習会及び代表者会議には、各チーム2名必ず出席すること。参加しない場合は、大会棄権とみなす。

会議会場 花びしホテル 〒042-0932 北海道函館市湯川町1-16-18 TEL:0138-57-0131

開・閉会式 ①開会式

令和5年11月3日(祝) 17:00

※各チーム16:30までに函館アリーナに全員集合すること。

※統一された服装で参加すること。着席場所等詳細は後日連絡。部旗と旗竿は各チームで持参。

②閉会式

令和5年11月8日(水) 競技終了後 函館アリーナ

男女3位以上のチーム全員、および優秀選手は参加すること。

宿泊 株式会社オールイントラベル(代表:林真彦)が斡旋する。

E-mail: hakodate@all-in-travel.co.jp TEL: 0138-44-3939 FAX: 0138-41-8890

傷害保険 大会に参加するチーム構成員(選手・学生役員)は全員、下記の傷害保険に必ず加入しなければならない。尚、部長・監督・コーチ・引率責任者は任意とする。

保険料は、1人500円とし、大会参加料と合わせて振り込むこと。

- 1)保険期間:令和5年11月3日から11月9日の7日間
- 2)支払条件:本大会へ参加するために自宅を出た時～自宅に帰宅時まで被った傷害
- 3)保険金額:995万円(死亡・後遺障害)
 - ・通院の場合:1日 3,000 円(けがをした日から 90 日程度)
 - ・入院の場合:1日10,000 円(けがをした日から180 日程度)
- 4)事故報告:事故が起きた場合、直ちに大会本部に連絡し、所定の届出書類(代表者会議で配布)を提出すること。北海道学連HPより書類をダウンロードしメールで提出でも可。
以後、保険会社が本人宛に直接連絡をする。
- 5)保険会社:東京海上日動火災保険株式会社 代理店(有)未来テック 担当:高橋英明
連絡先 TEL:090-9086-1370 FAX0138-84-1195 E-mail: jump24cm@ms8.ncv.ne.jp

◎大会申し合わせ事項および注意事項

1. 健康管理

各大学は、健康管理に留意し大会に臨むこと。なお、全日本学連・主管学連・大会事務局とも一切の責任を負わない(平成23年6月全日本学連第1回総合役員会決定事項)。

2. 大会・ベンチエントリー

- ① 大会参加申込の役員・選手は「役員＝6名・選手＝20名」の登録とする。
- ② ベンチ登録の役員・選手は「役員＝5名・選手＝16名」とする。
- ③ 申込後のメンバーおよび背番号の変更は一切認めない。
- ④ 背番号は、1番から99番まで使用可とする。
- ⑤ 貼り番号は認めない。
- ⑥ 役員構成は、部長・監督・コーチ・主務・副務・トレーナー等どのような構成でも可能とする。
- ⑦ 役員証・選手証の提出がないチーム・個人は、競技への参加を認めない。
- ⑧ 引率責任者は大学の専任教職員、または部長が任命した者であること。引率責任者が未登録の場合はベンチに入れないが、試合会場内にいて、緊急対応時には連絡が取れるように待機しなければならない。
- ⑨ 留学生については、全日本学生ハンドボール連盟の取り決めにより、大会エントリー3名以内、ゲームエントリー2名以内とする。(短期留学生※2年未満は不可)
- ⑩ 競技開始10分前までのメンバー変更は可能とする(アップ中の怪我などへの対応)。
- ⑪ 大会エントリーし、ベンチに入る者は、必ず、令和5年度(公財)日本ハンドボール協会登録証を持参し、提出すること。

3. ユニフォーム、サイクリングパンツ、アンダーシャツ、他

- ① ユニフォームは、CP用／GK用をそれぞれ2色(合計4色)以上を用意すること。
- ② ユニフォーム色の確認、第1試合は試合開始30分前、第2試合以降は前の試合のハーフタイム時に記録席前で行う。登録された全ての種類のユニフォームを持参すること。調整がつかない場合は、トーナメント番号数字の大きいチームが変更すること。
- ③ ベンチ入りする登録役員は、相手チームCPのユニフォームと同色及び同系色の着衣を禁止する。同色及び同系色となった場合は、着替える、または、異なる色のビブスを着用することで対応すること。

- ④ ユニフォームパンツの下に着用するサイクリングパンツやユニフォームシャツの下に着用するアンダーシャツは、それぞれユニフォームパンツの色、ユニフォームシャツの基調となる色と同色でなくてはならない。また、選手数名が着用し他は着用しないとかは認められるが、着用している選手全員が同一形状のものを着用すること。競技中、たびたび異色のサイクリングパンツが見えるような場合は、審判員・役員から履き替えるか見えないように指導された場合は従うこと。

サイクリングパンツ、アンダーシャツ、靴下、コンプレッションソックス、サポーター、装具類、その他詳細は、(公財)日本ハンドボール協会HP競技規則頁記載の〈服装や保護を目的とした装具に関する規定〉(2023.4.1)に準ずる。

なお、アンダーシャツのハイネックタイプに関しては、ベンチ入り全員着用か全員着用しないかにすること(全日本学連規定による)。

- ⑤ 顔面プロテクターについては、大会申込時に写真添付の上、大会本部に使用許可を申請すること。
なお、直前のケガの場合は、別途受け付ける。
- ⑥ ユニフォーム広告については、令和3年4月1日改訂「全日本学生ハンドボール連盟におけるユニフォーム広告に関する申し合わせ」の内容を遵守すること。
- ⑦ 大会申込に当たって、必要書類は日本協会登録のデータ(氏名の漢字、学年、出身校、身長等)に基づいて作成されることが前提となるので、参加チームは日本協会登録データを確認し、間違いのある場合は正しい情報に修正しておくこと。

4. その他

- ① 役員登録されていない臨時トレーナーは、試合開始前にオフィシャル席に届けること。ベンチ入りは認められないため交代地域外側に設置する臨時トレーナー席で待機すること。プレーヤーが負傷した場合、交代地域外のその場所で応急手当をすることを認める。臨時トレーナーは交代地域やコート内に立ち回することはできない。また、コート内の選手に声をかけたりすることはできない。
この席に立ち入ることのできる該当者は、トレーナー等の公認資格を有していなければならない。
なを、登録役員6名の中にトレーナー登録者がいる場合は、臨時トレーナーは認めない。
- ② 両面テープのみ使用可とする(松やに、粘着スプレー類等は使用厳禁)。
- ③ シューズは、屋内・屋外それぞれの専用シューズを必ず用意すること。
- ④ 交代地域に持ち込み可能な通信機器及びウェアラブルデバイス使用に関しては、日本協会ガイドラインに準ずる。
- ⑤ 大会不参加となった場合の宿泊施設・交通等の取消料について、大会主催者は一切関与しない。
- ⑥ 代表者会議での注意事項をチーム全員で認識し、厳守すること。
- ⑦ 本大会の男女1・2位のチームは、日本選手権大会に全日本学生ハンドボール連盟から推薦される。

令和5年度第75回日本選手権大会

男子 12月13日～12月17日 宮城県仙台市

女子 12月24日～12月28日 岩手県花巻市

<問い合わせ先>

大会事務局 〒041-0251 北海道函館市小安町12-2 北海道学生ハンドボール連盟 代表:松喜美夫

FAX:0138-58-2543 携帯電話:090-3113-3274 E-mail: matsu213@sea.plala.or.jp

北海道学生ハンドボール連盟 島崎百恵 E-mail: shimazaki@tsc.u-tokai.ac.jp